

飯舘村(いたてむら)の概要

項目	人口		摘要
人口	5,752 人		平成 30 年 7 月末現在
避難状況 (平成 30 年 7 月 31 日現在)	県内	4,594 人	福島市、伊達市等
	県外等	282 人	埼玉県、宮城県等

1. 解除・帰還の状況

- 平成 28 年 7 月 1 日から役場機能の大部分が村に戻る。
- 平成 28 年 7 月 1 日から、村内での長期宿泊を実施。
- 平成 29 年 3 月 31 日午前 0 時、居住制限区域及び避難指示解除準備区域における避難指示解除。
- 居住者数 875 人(平成 30 年 7 月 31 日現在)
【参考】平成 30 年 7 月末時点の帰還困難区域を除く世帯数、人口に占める比率は、15.2%となる。

2. 除染の状況(直轄区域)

- 終了(平成 28 年 12 月 31 日時点)

3. 生活インフラ、産業復興の状況

- 生活道路、電気、ガス、上下水道等のインフラは、概ね復旧済み
- 村民の足の確保:コミュニティバス(仮設住宅～医療機関・商業施設等)、いっとき帰宅バス(避難先～村内自宅)を運行中。(福島帰還再生加速事業を活用)
- 村内循環バス(コミュニティバス)の運行再開(H30.9.3)
- 買い物環境:コンビニ営業開始(2店舗)、コープふくしまによる宅配サービス開始
- 食料品等の移動販売運行(2社)
- 住宅:災害公営住宅「大谷地団地」8 戸竣工(H28.5)。8 戸竣工(H29.5)
福島再生賃貸住宅「深谷団地」15 戸竣工予定(H30. 12)
災害公営住宅「桶地内団地」10 戸竣工予定(H32.3)
(福島再生加速化交付金を活用)
既存の村営住宅(飯樋、深谷、臼石、伊丹沢)は平成 28 年度までに修繕完了。平成 29 年 4 月から入居開始。(福島生活環境整備事業を活用)

- 医療: いたてクリニックが H28.9.1 から再開(火曜日、木曜日の週 2 回、9 時~12 時)
- 介護: 特別養護老人ホーム(いたてホーム)が国の特例措置で運営を継続するも介護士が減少。(123 人から 58 人に減。H29.2.1 時点)
- 学校: 平成 30 年 4 月から飯舘中学校校舎において、幼・保・小・中が連携し、一貫した教育を目指した学校運営を開始。学校施設及び隣接するスポーツ公園の整備を福島再生加速化交付金を活用し、平成 29 年度に実施、平成 30 年 8 月 12 日にオープン。(配分額は、学校約 27 億円、スポーツ公園約 12 億円)
- 防犯: 「いたて全村見守り隊」によるパトロールを実施中。希望世帯にホームセキュリティを設置。村内 17 か所に防犯カメラを整備。(福島帰還再生加速事業を活用)
- 事業再開: 官民合同チームが訪問した 222 社のうち 45 社(20.3%)が村内で事業再開済。(村外での再開企業を含めると、124 社(55.9%)が事業再開済)
- 営農再開: 平成 24 年度より、作付等実証を実施。水稻(1.2ha/5 地区)、花(20a/4 か所以内)、水田放牧(2ha/1 か所)、繁殖牛飼養実証(1 か所)、牧草(30a/1 か所)等。平成 29 年度から 8 農家が稲作を再開。放射能検査を経て出荷。

4. その他

- 村独自の取組として、帰村世帯の引っ越し費用補助として「おかえりなさい補助金」を平成 29 年度創設(一世帯当たり 20 万円を交付)。
- 村内の深谷地区に復興拠点を整備。道の駅は 29 年 8 月、花卉栽培施設は 30 年春に整備完了。住宅は 30 年 12 月竣工予定(福島再生加速化交付金を活用)
- 飯舘村交流センター「ふれ愛館」開館(H28.8.13)。(福島再生加速化交付金を活用)
- 相馬地方広域消防署飯舘分署を建て替え、業務開始(H28.7.30)。
- 南相馬警察署飯舘駐在所を建て替え、業務開始(H30.3.17)。